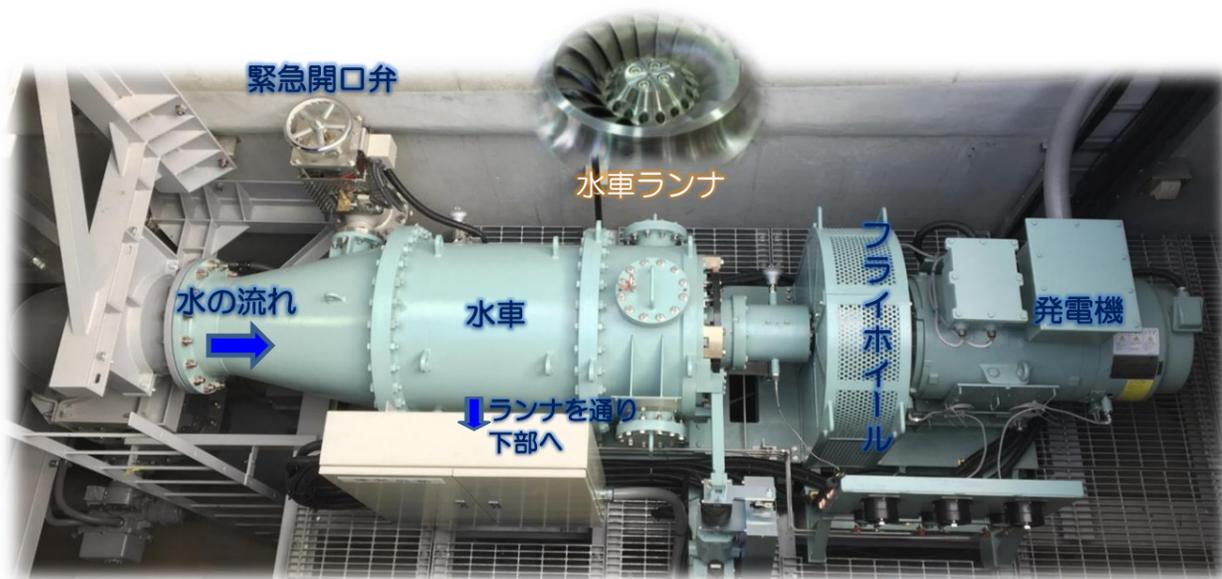
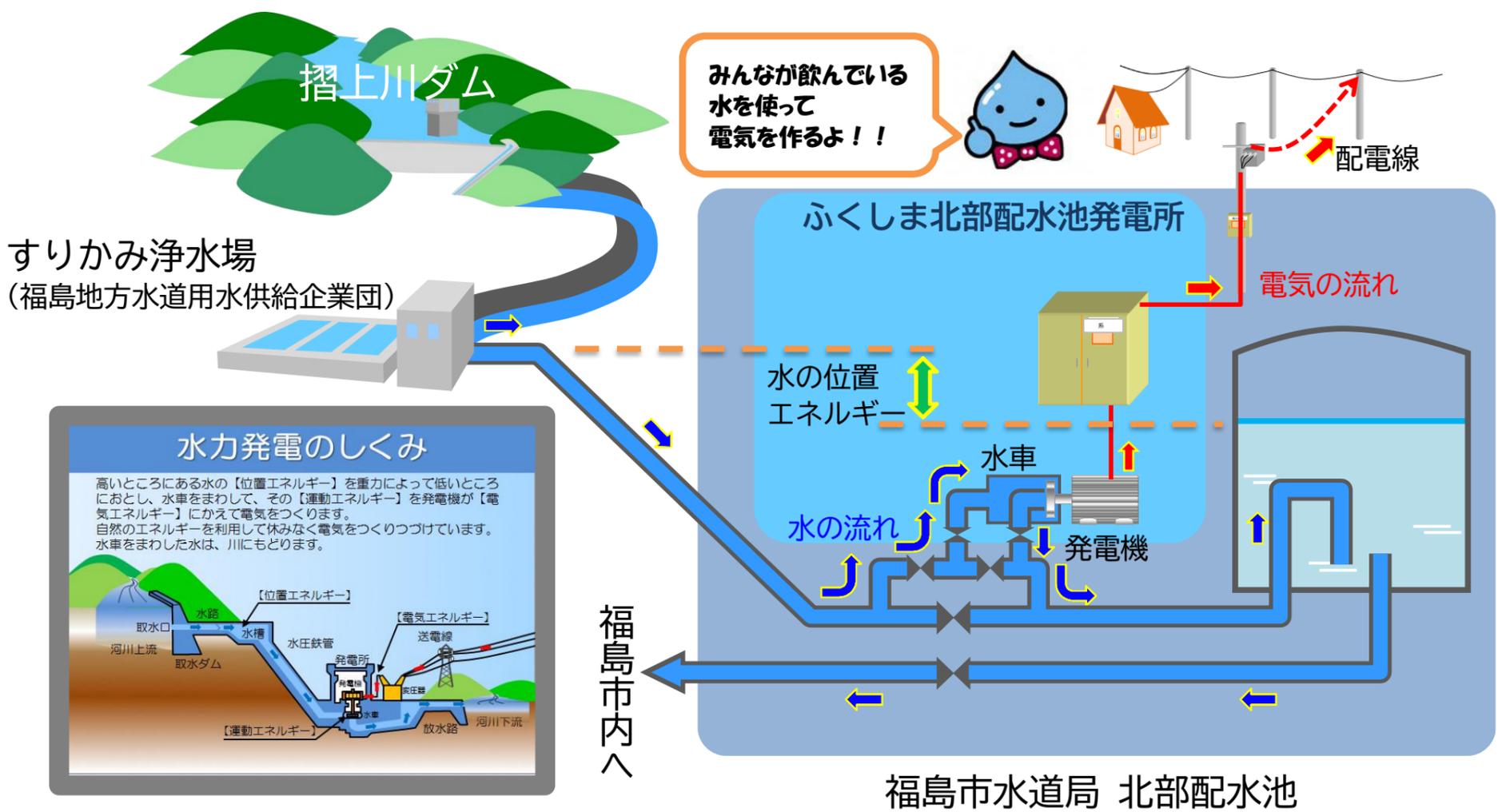


# 水道の水を利用した「ふくしま北部配水池発電所」

福島市水道局では、福島市が進める「チャレンジ2050ゼロカーボンふくしま市」の実現と、「ふくしま水道事業ビジョン」で掲げる基本方針”地球にやさしい水道へ挑戦”に基づき、水道水の安定供給を確保しながら、積極的に環境負荷の低減に取り組んでおります。

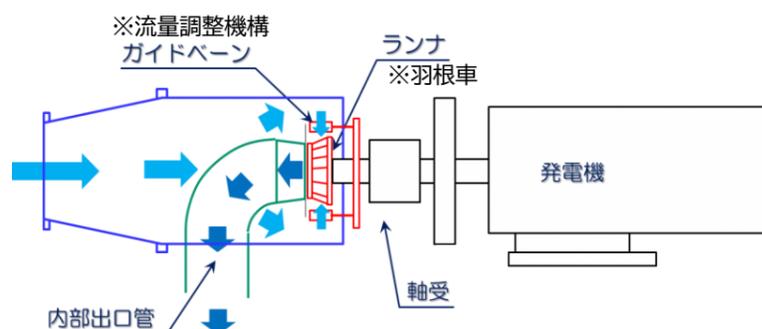
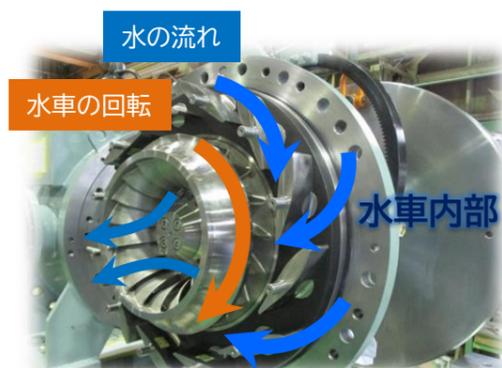
ふくしま北部配水池発電所は、福島市水道局初の水道施設を利活用した小水力発電施設であり、公募型企画提案方式により決定した東京発電（株）と連携し、国の「再生可能エネルギー固定価格買取制度」を利用して電力会社へ売電するものです。

この施設は、すりかみ浄水場（福島地方水道用水供給企業団）から送水されてくる水の流量と圧力のエネルギーを利用して水車・発電機を回し、一般家庭の約170世帯分の電気を作り、配電線を使ってみなさんのご家庭や工場へと送られます。



## ふくしま北部配水池発電所データ

水車	： 円筒ケーシング・インライン型フランシス水車
最大出力	： 115 kW
最大有効落差	： 62.804 m
最大使用水量	： 0.256 m <sup>3</sup> /秒
年間発電電力量	： 約73万 kWh (一般家庭約170世帯分の年間使用電力量に相当)
発電電力用途	： 全量売電
環境効果	： 年間約370トンのCO <sub>2</sub> を削減
運転開始	： 平成30年4月1日



福島市水道局  
東京発電株式会社